

## 修 士 論 文 の 和 文 要 旨

|   |                              |      |         |
|---|------------------------------|------|---------|
| 研究科・専攻  | 大学院 電気通信学研究科 情報通信工学専攻 博士前期課程 |      |         |
| 氏 名   | 奥村 俊也                        | 学籍番号 | 0830016 |
| 論 文 題 目   | 表データ操作を RDB で強化した Wiki システム  |      |         |
| <p>要 旨</p> <p>近年見られる情報爆発により、現在 Web 上には膨大な量の情報が存在している．そのため、多種多様なユーザが情報を持ち寄り、その情報を収集、管理する場所が必要となる．</p> <p>そこで、ブラウザ上で Web ページを作成でき、コンテンツを管理、構築することができる Wiki システムと呼ばれる Web アプリケーションと、表構造のデータを操作できる RDB システムに注目した．</p> <p>Wiki システムは、複数ユーザがブラウザを用いて気軽にコンテンツの編集が行えるが、表データの編集は非常に煩雑である．RDB システムは、表データの操作や検索が容易であり、安定した運用が可能であるが、操作を行う際に必要となるユーザスキルが高く、作成できるコンテンツが表データ構造に限定されてしまう．</p> <p>その問題点を踏まえ、本研究では</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 初心者でも簡単に操作できるインタフェース</li><li>・ 表データの編集・操作が行いやすい Wiki システム</li><li>・ 表データとページデータを用いた柔軟性の高いコンテンツの構築が可能</li></ul> <p>の 3 点を目的としたシステムの提案を行った．その目的に対する手段として、RDB によって表データ操作を強化した Wiki システムの構築、評価を行った．</p> <p>評価実験を通して、表データを編集する際には手間が軽減され気軽に編集を行うことができ、ページ閲覧時は目的の情報を簡単に探索することができるシステムであることが示された．表データやページを気軽に編集できるため、高いユーザスキルは必要ない．表データの操作は RDB に任せることで簡単に行うことができる．また、ページの再構築、表データの再利用が簡単なため、可読性の高いコンテンツの構築が容易である．</p> <p>これにより掲げた目的は達成され、本システムが膨大な情報を管理するシステムとして活用できることを示すことができた．</p> |                              |      |         |